

アチヨ～

はいしゃさんの

女神さま

毎日が刺激的!



③ ベテラン歯科衛生士の錯覚

文・小原啓子 (歯科衛生士, マネジメントマスター)
イラスト・真砂 武

小原啓子 (おはらけいこ)

ベテラン歯科衛生士と話をすると、こんな会話が少なくない。「今年入った新人、やる気がないんだよねー」「言ってもなかなか動けんし」「うちが外科処置に重点を置いているのがわかっと思って入ったのに、甘く見てたんやろうか」。次々と出てくる愚痴と苦悩。そして彼女は最後に言った。「私の指導が悪かったんかなー」。

そうそう、そこまで行くのに時間かかったけど、気がついてヨカッタ、ヨカッタヨ。

じつは、歯科衛生士数は減っている。全体じゃないのよ。全体は増えてる。おばちゃん歯科衛生士がどっと介護の現場で活躍することを目指して復帰してきたからね。かなりのエネルギーをもって帰ってきているので、それはそれで小原はうれしい。しかし、25歳までの若者は、決して増えていないことに注目してほしい。25歳までに40%が歯科業界から離れてしまう現実。若者に魅力を感じてもらえない業界に発展はないと思うのよ。

どうして離職するかは、複雑なのでここでは話さないでおこう（『輝く華の歯科衛生士』（医歯薬出版刊）で詳しく仮説を出しているから読んでね）。

教育係を担当したベテラン歯科衛生士。本当にその教え方でよかったのかな？ 人は急には覚えられないし、上達しないのよ。ましてやあなたは何年もやってきたじゃない。比べるほうが無理。新人には新人にできることがある。そんな小さな目標を立て、実践して、チェックするシステムがいるのよね。そうそう、教えているあなたにも必要。彼女をいつまでに何をどの程度できるようにするという具体的な目標設定をしましたか？ 指導したあなたを採点すると何点だろう。そのときは口にしなかったけど、私は彼女の話聞きながらそう思っていたのよね。

これが、一般社会で行われている基本的な**目標設定管理**です。習うほうより、教えるほうが絶対に難しい、実践しながら反省し、改善しながら実践する。Plan-Do-Seeシステムで向上させていくことが大切なのよ。私たち、いままで患者さんの保健指導で継続した管理法を勉強してきたのに、自分たちの職場で使うことがなかったですよね。せっかくだから応用してみませんか？ きっと新人がいまより光って見えますよ。

広島歯科衛生士専門学校卒業後、広島口腔保健センター、広島歯科衛生士専門学校教務を経て、現在フリーランス。2004年産能大学(現・産業能率大学)経営情報学部卒業。2006年広島大学大学院社会科学部専攻卒業、マネジメントマスター。DMS Hiroshima代表

目標設定管理って何？



目標設定管理は

私先輩。

新人です！

目標

あそこを
目指そう！
ハイ

最初に、最終的に
どのようにならな
かそ決めます。

そうなるためには
何が出来ないか？
いけなりのか？

あれと…

これと…
あれも…

なるほど、
あれが必要
なんだ。

いつまでに出来ないか？
いけなりのか？
決めます。

目標は具体的に。

〇〇分まで
ようにしよう！

ハイ

でない！

できてない
じゃない！

できて
ます！

こんな事になります。

目標を数値化すると
わかりやすくなります。

〇〇を
〇分で
できるように
しよう！

ハイ

定期的に
どこまで進んでいるか

どう？

あそこが
どうしても
できなくて…

チェックする事も大切です